

高岡テクノドームの機能の拡充等に関する検討会（第2回）概要

日 時：令和2年3月4日（水）10:00～11:25

場 所：県庁4階大会議室

概 要：

○知事挨拶

- ・ 高岡テクノドームは北陸新幹線の開業や隣接の大型ショッピングセンターの大幅増床ということもあり、大変人の集まる場所になってきている。この機会に、3年後の新幹線敦賀開業を見据えて、高岡の活性化、県西部全体に活力が出るように、高岡テクノドームの敷地を活用した別館整備などの機能拡充が図れないかを議論いただくため、本検討会を設置したところ。
- ・ 前回の会議では、1,000人程度のコンベンションをもっと機動的に行える場所があれば良いという意見、新たなコンベンションニーズに対応できる、5Gなどの最先端技術を活かしたeスポーツなどが楽しめる場所にしてはどうかといったご意見があった。
- ・ また、併せて、親子連れが気軽に立ち寄って、高岡の伝統産業や先端的なものを楽しめる場所もあれば良いというご意見もあった。こうした前回いただいたご意見を踏まえて、今回、高岡テクノドームの機能拡充についてのたたき台を用意した。
- ・ また、このたびの県議会に提案している予算の中には、高岡テクノドームの機能拡充に関する調査・設計費として1億250万円を計上している。
- ・ 2回目の会議になるが、それぞれのご見識、お立場で忌憚のないご意見をいただき、今後の大きな方向、また具体的にこうしたらどうかという各論も含めてご意見をいただきたい。

○事務局説明（資料に沿って説明）

○委員からの主な意見

- ・ ユーチューバーの活用など、機能を外の人に知ってもらう広報の工夫が必要。
- ・ 地元利用もありつつ、大規模会議や学会など全国から人が来る施設になればよい。また、必ずしも1,000人とは言わず、可能な限り確保する方向で検討してほしい。
- ・ 旧来のまちと新高岡駅が二極化しており、まちなかの性格と新幹線の周りとの性格分けし、役割分担を考えていく必要がある。また、全てでなくとも、他よりも優位に立つため、選択と集中でどこかでナンバーワンにならないといけない。例えば、5Gならば、その点においては日本のどこよりも優れているということにしないと注目されない。
- ・ 現在のテクノドームの空調や照明などを改善・充実し、別館と合わせて相乗効

果を出していくことが良いのではないか。

- ・ 全額県の予算で整備をしてもらいたい。
- ・ 高岡、県西部に行ったら、日本や富山県が誇れるものがあるというような、光るものになってほしい。
- ・ ものづくりを体験したいという人は多く、体験施設を常設にしてはどうか。
- ・ せめて 50 席のカフェがあるとお客も集まりやすい。また、芝生の公園があると、子どもや家族が休憩でき、さらにマルシェの開催などいろいろな活用ができることから、市民も集まる場所になるのではないか。
- ・ 5G など新しい技術を活用したエンターテインメントが出てくると施設の活用の仕方もこれからいろいろ変わっていくため、そうした変化に対応可能な汎用性が高いものがあるとよい。
- ・ 最先端の設備があっても、活用する側が重要になってくる。場所を作ると同時進行で、その機能をうまく活用できる企業や人材、ひいては産業を育成していく必要がある。
- ・ ここでしかできない、本物の技術を体験・学べる場となればよい。そういうところで子どもが体験できるのは親としてもうれしく、付いていく親も新鮮な感動と興味を持って子どもたちと学ぶことができる。
- ・ 親子向けに託児スペースや県産の木材や製品を活用した子どもが遊べるコーナーを置いてはどうか。
- ・ 駐車スペースを多くとることも大事だが、親子向けに余裕があるスペースの確保も必要。
- ・ 体験施設を誰が運営するかが大切。施設を使いこなし、アドバイスもできる人材を確保する必要がある。
- ・ 多機能であれば運用が大事であり、人が集まってもらえるような営業活動も必要。
- ・ 広域的な利用が前提であり、県西部地域の企業が有益な展示活動を展開し、連携できるような組み立てをお願いしたい。